

# ①水資源調査

# 水資源に係る調査の流れ

環境影響評価、文献調査、現地調査



事後調査、モニタリングの地点決定



工事開始前調査開始



事後調査・モニタリング

# 水利用状況調査

調査結果を基に聞き取り、現地確認

阿島北地区

調査項目	調査箇所数	実施時期
表流水(河川・沢水)	全36地点	H27.7月～H27.10月
井戸水	全52箇所	H27.7月～H27.10月



事後調査、モニタリングの地点の選定



工事開始前調査開始

# 事後調査・モニタリング調査

## 調査地点

4箇所  
個人井戸2, 土井場水源1、田中下水源1

## 調査項目

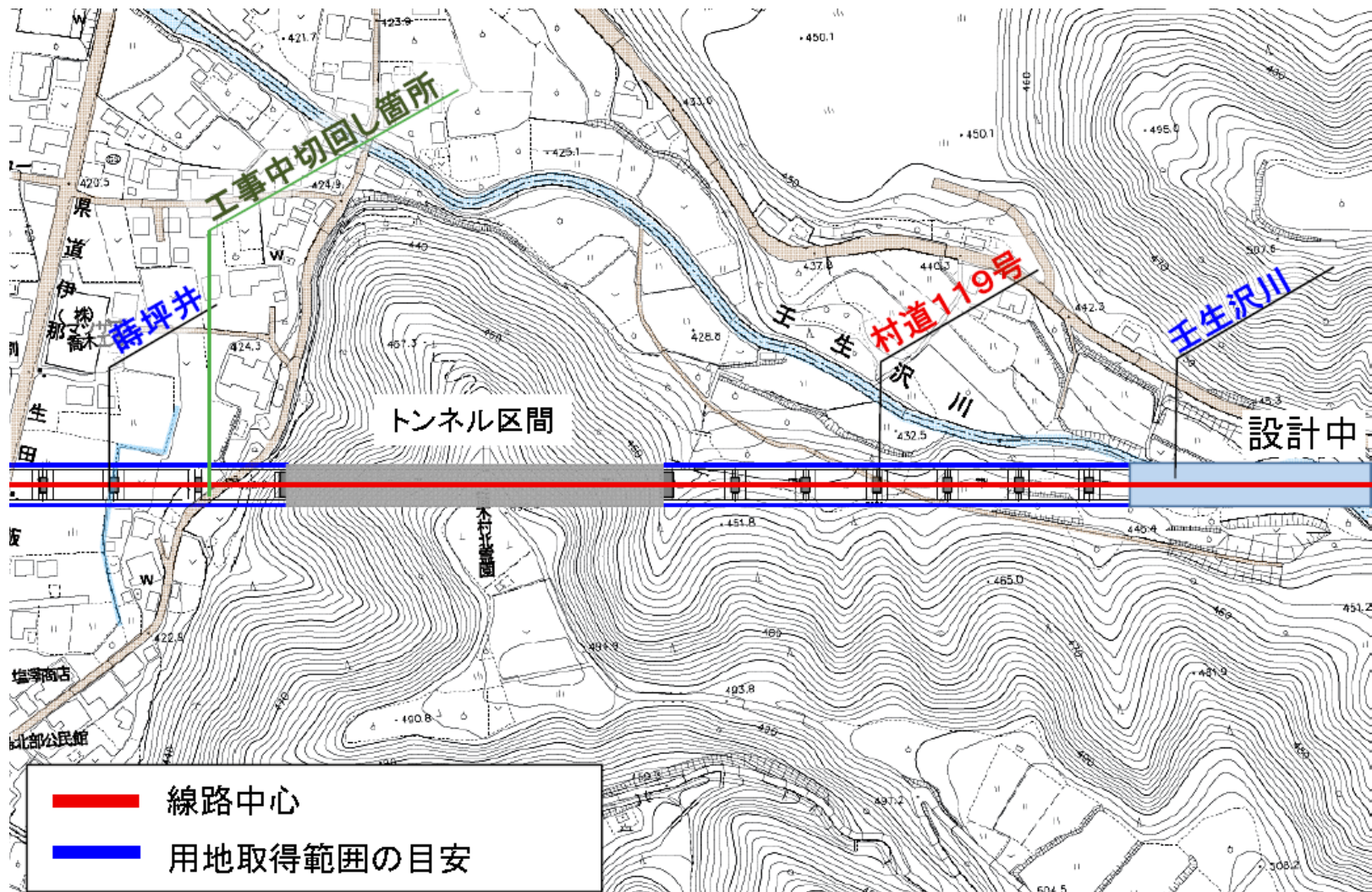
地下水の水位又は湧水の水量、水温、pH、電気伝導率、透視度

## 調査時期 及び頻度

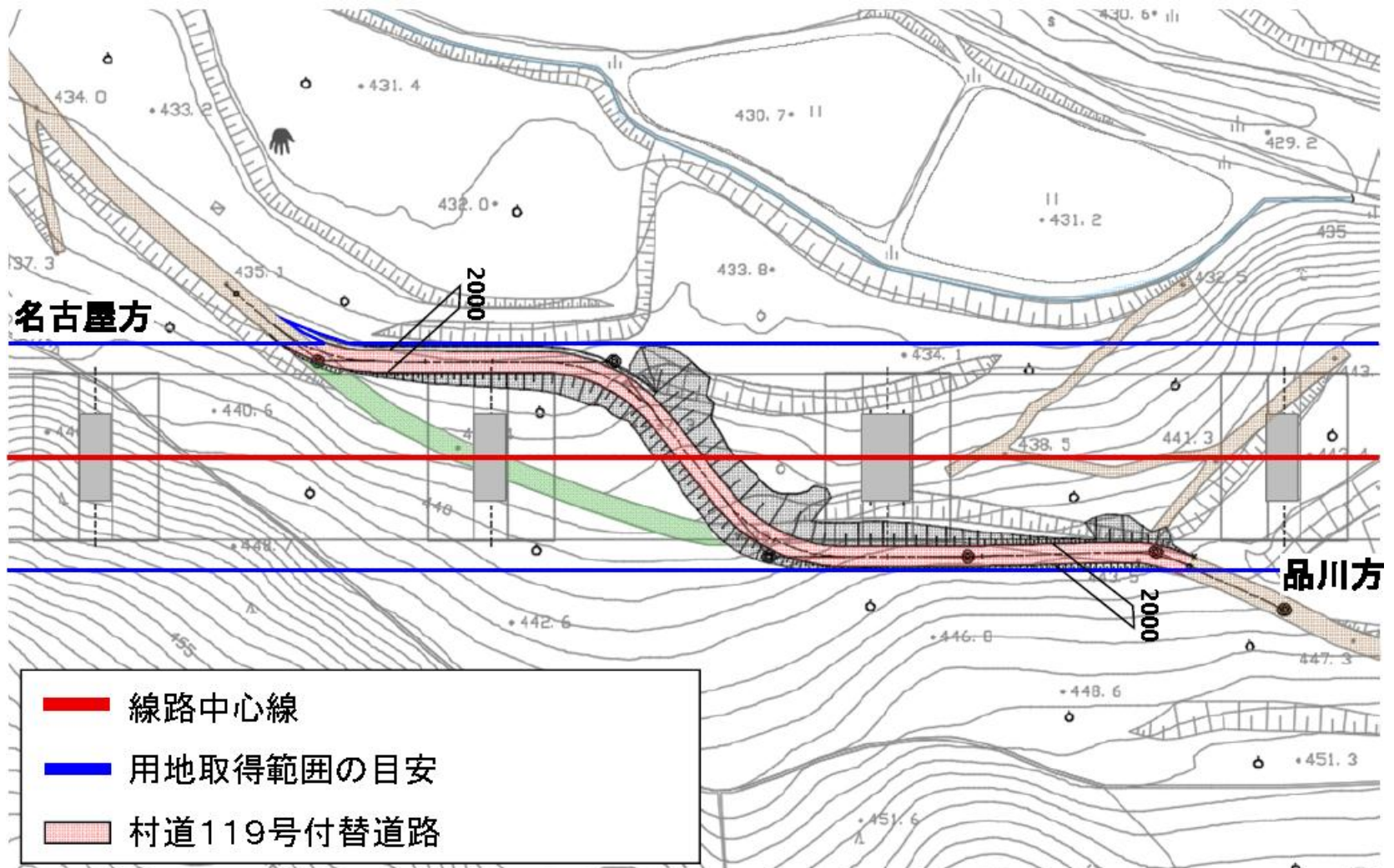
地上区間工事前の1年間・・・年4回  
地上工事期間中・・・月1回  
地上区間工事完了後・・・一定の期間

## ②道路付替え計画

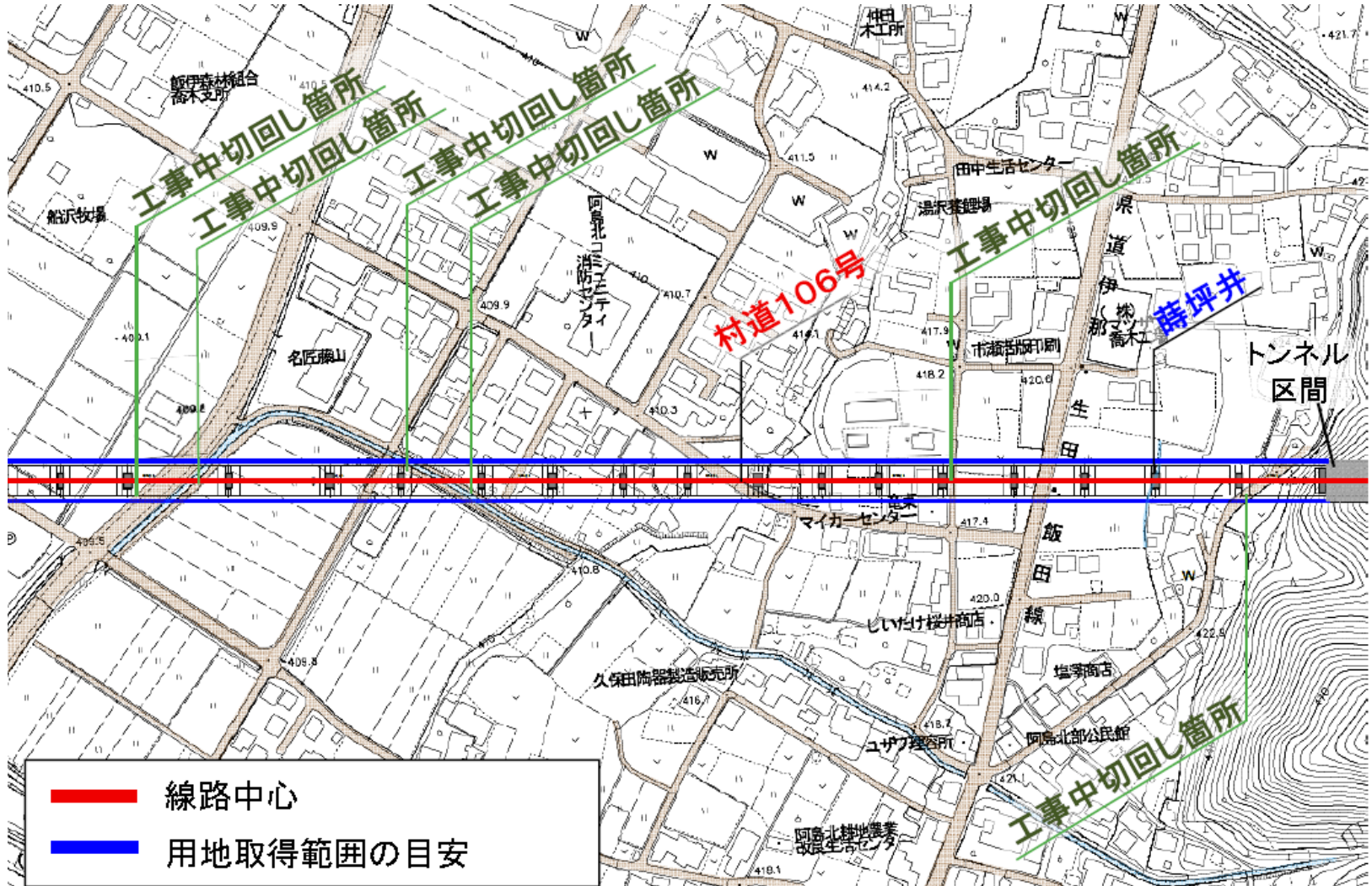
# 村道119号 付替え



# 村道119号 付替え

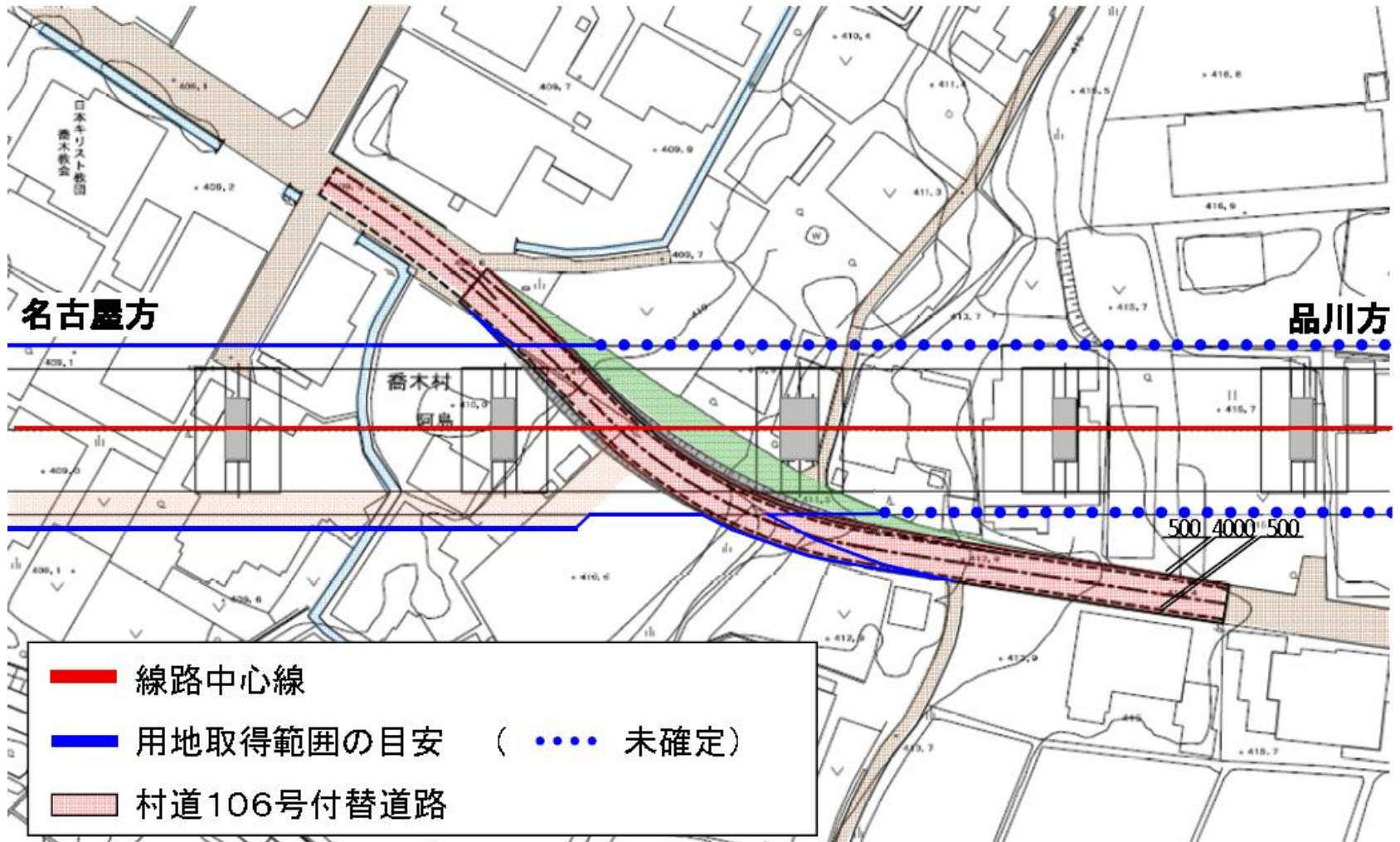


# 村道106号 線形変更

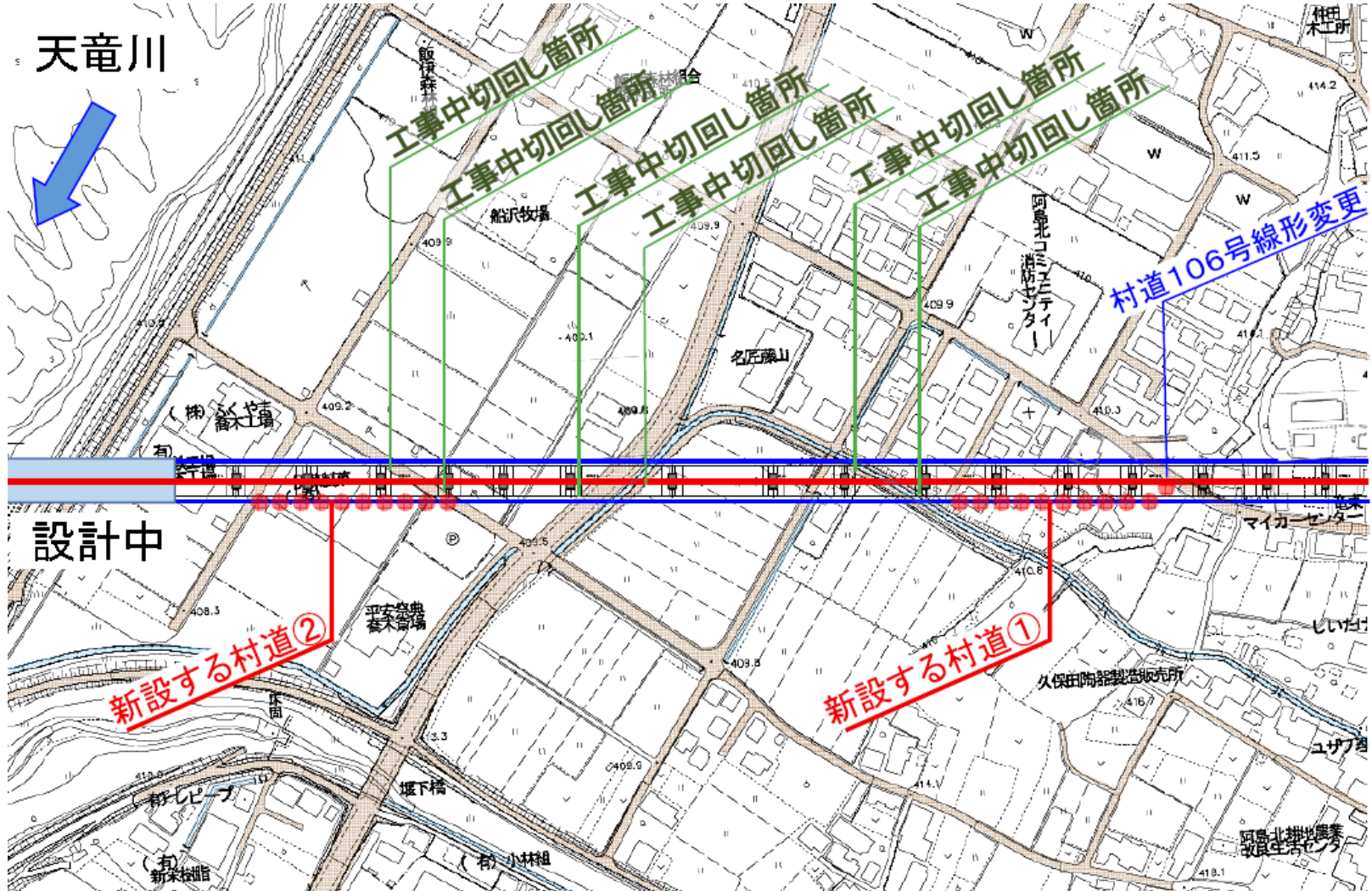




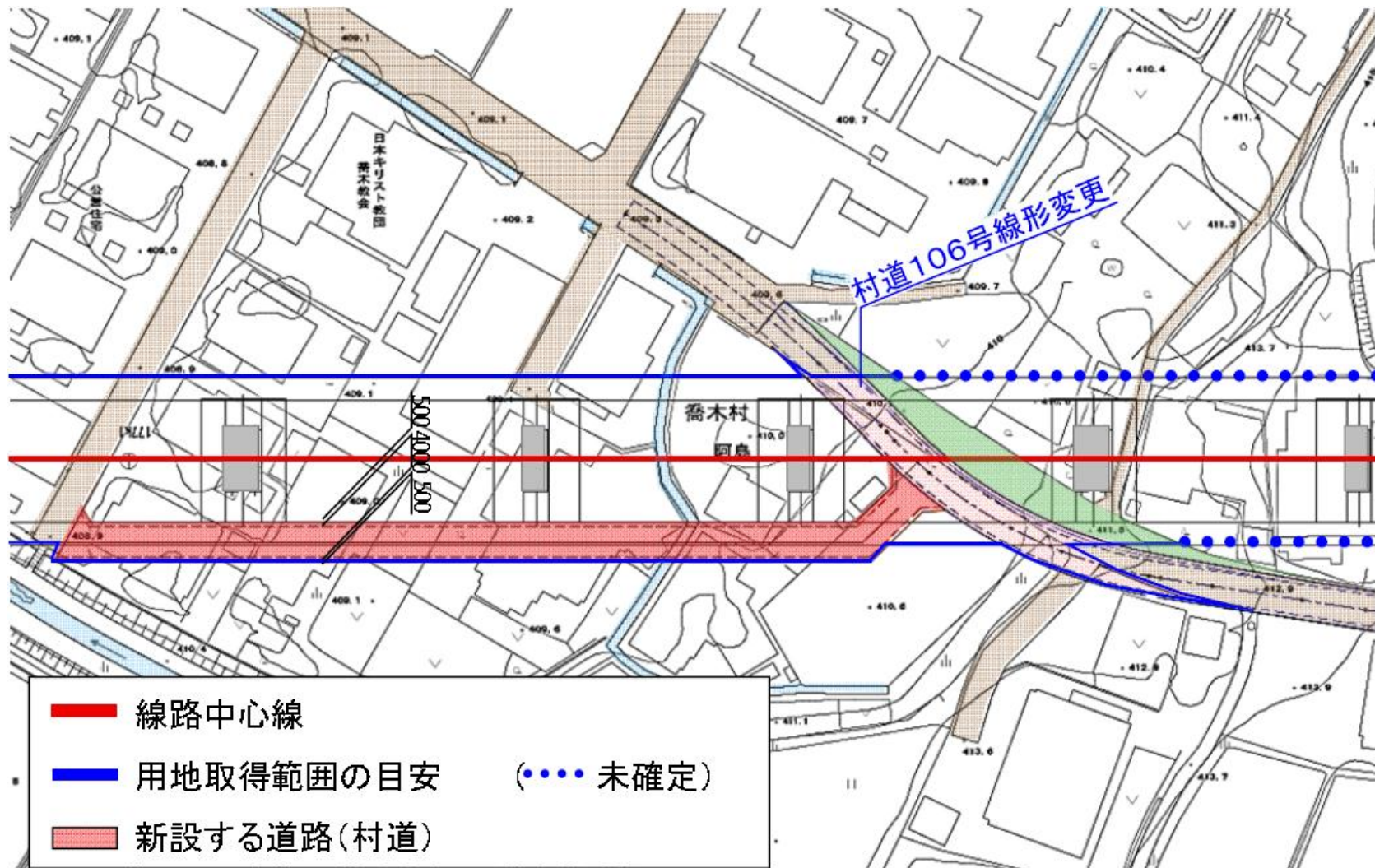
# 村道106号 線形変更



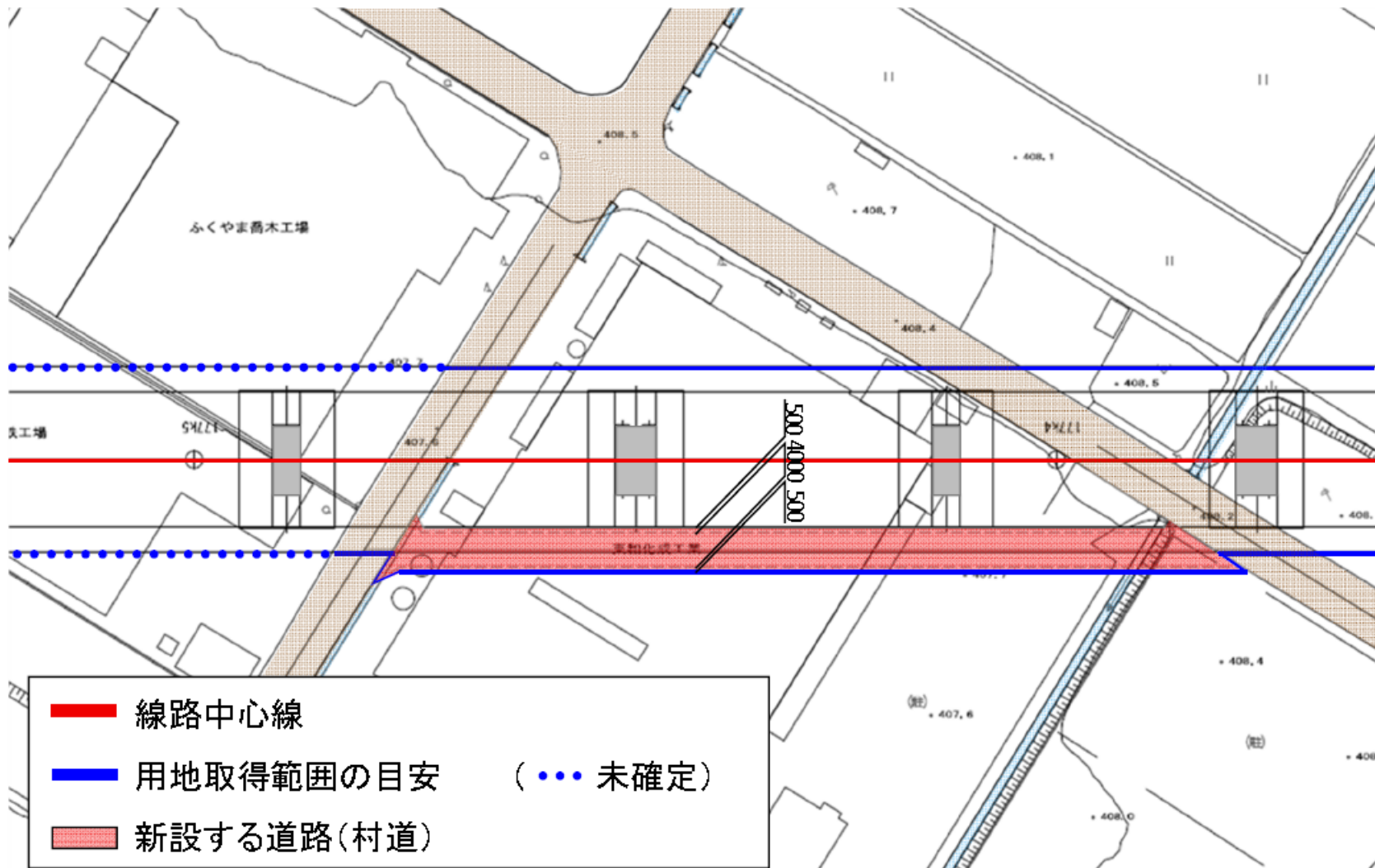
# 新設する道路計画



# 新設する村道計画①

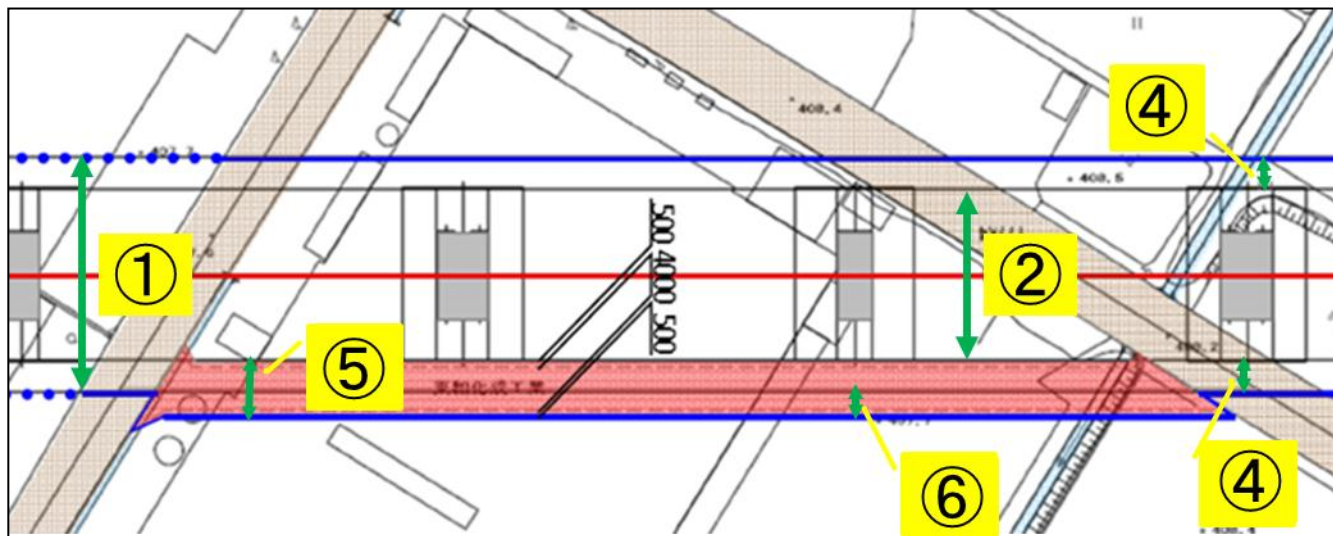


# 新設する道路計画②



# 新設する村道計画

①	リニア本線用地幅	21.6m	②	橋脚フーチング幅	16.0m
③	緩衝帯(両側)	5.6m	④	緩衝帯(片側)	2.8m
⑤	新設道路	5.0m	⑥	追加用地幅	2.2m



# 今後のスケジュール

現時点では、概ね以下のとおりを予定しています。

喬木村 (阿島北地区)	H27年度		H28年度				H29年度				H30年度 以降	
	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬		
測量・地質調査等	■											
設計協議	■					■						
用地取得等※		■	■	■	■	■	■					
工事説明会									■	■		
明かり区間 (ヤード造成等)											■	

本日のご報告



袋地、付替え箇所の幅杭確定

(用地  
説明会)

(土地や建物等の  
測量及び調査)

(補償金  
算定)

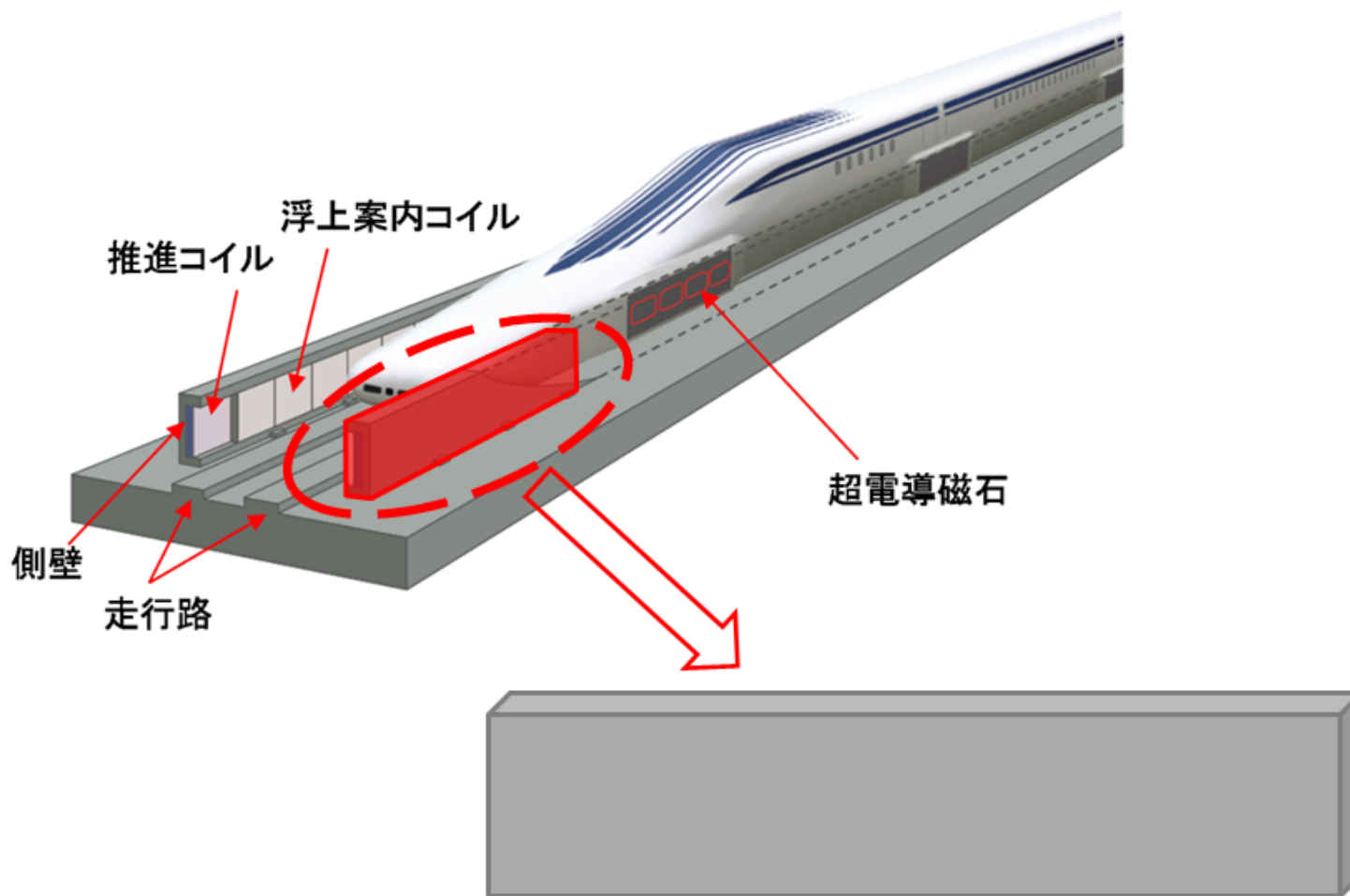
(ご説明)  
(契約締結)  
(引渡し)

※工事施工ヤードとして一部用地を借地させていただく場合があります。

※用地取得等の〔 〕は手順を示しており、時期を表しているものではありません。

### ③ガイドウェイ製作・保管ヤード計画

# ガイドウェイの構造



※ 1本の長さが約12mの板状のコンクリート製品



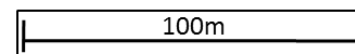
# ガイドウェイ製作・保管ヤード

目的	ガイドウェイ側壁の製作(約12m、コンクリート製) ※部品取り付け含む ガイドウェイ側壁の保管
規模	約5.5ヘクタール 長野県内でピーク時で最大約12ヘクタール (複数箇所に分けて確保)
使用期間	平成29年秋(耕作終了後)～平成38年3月(予定)
用地の考え方	工事中の一時使用のため、工事期間中借地いたします。 工事終了後は、農地へ復旧することを原則としてますが、返却の際に跡地利用計画も踏まえて協議いたします。

# 候補地(堰下)航空写真



- ・面積: 約5.5ha (内農地: 約3.8ha)
- ・主な土地利用状況: 田畑、雑種地など



# 施設のイメージ



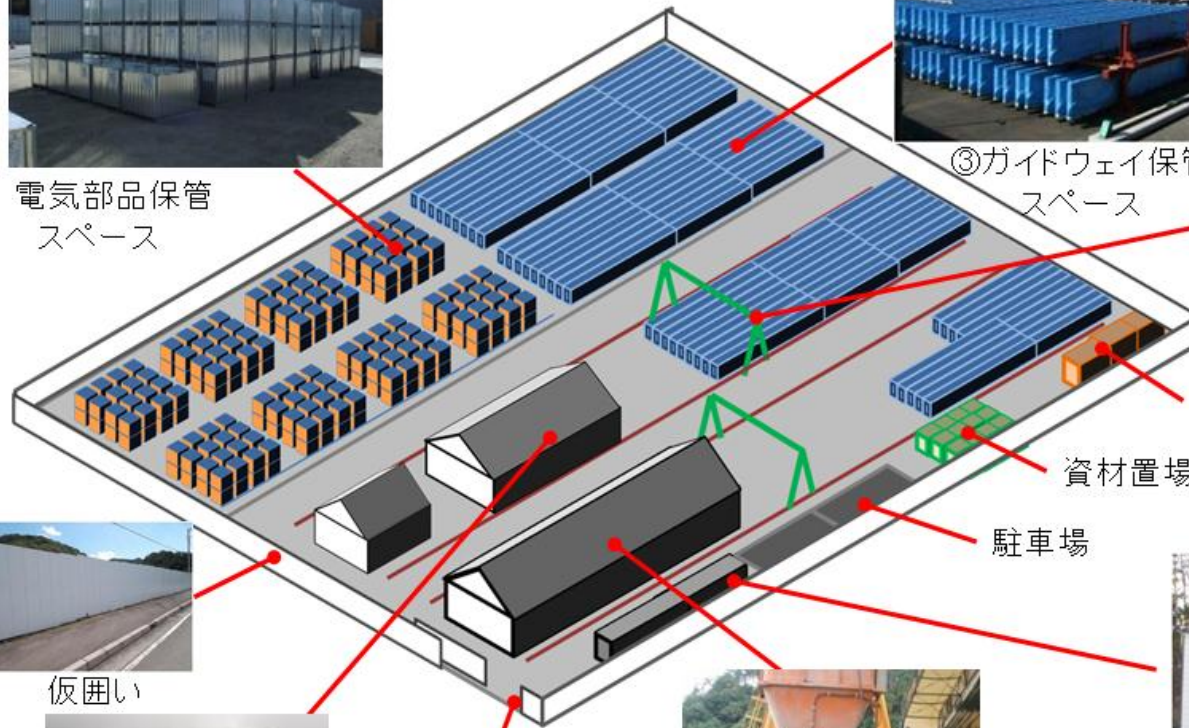
電気部品保管  
スペース



③ガイドウェイ保管  
スペース



運搬クレーン



設備スペース

資材置場

駐車場



仮囲い



②電気部品取付  
スペース

出入口



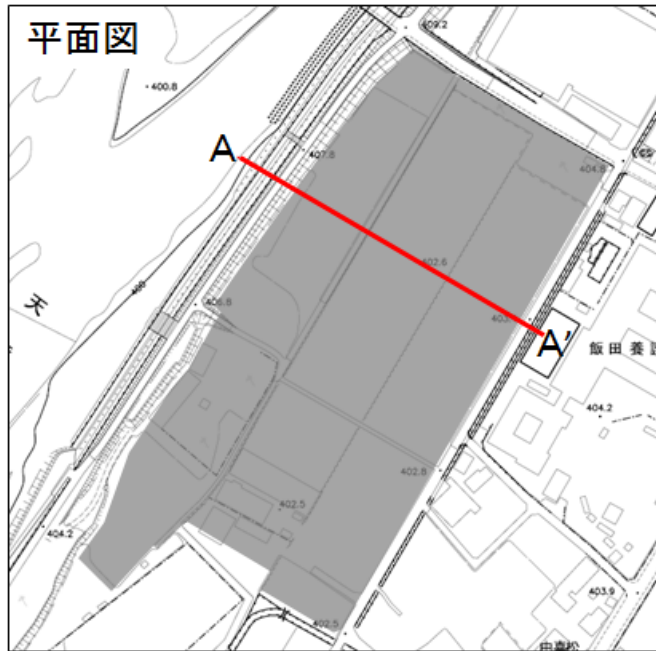
①ガイドウェイ側壁製作  
スペース



仮設事務所

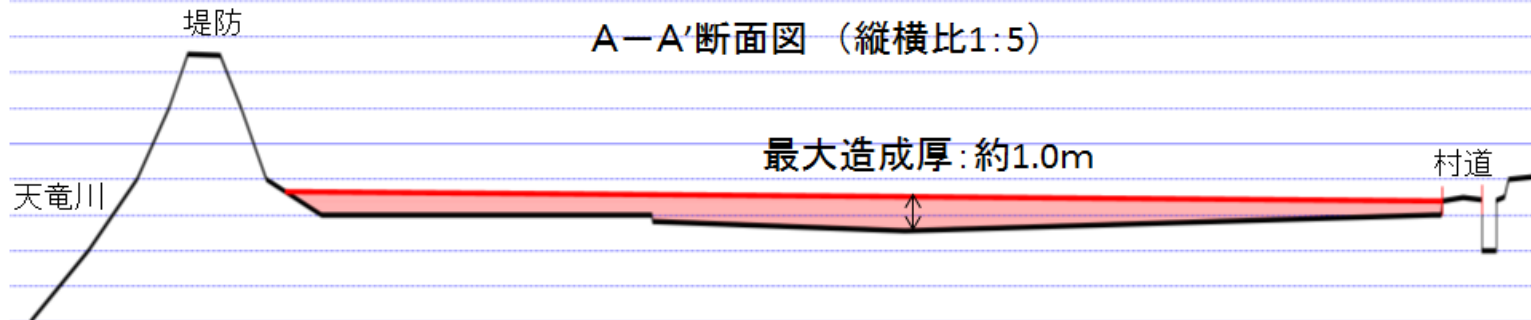
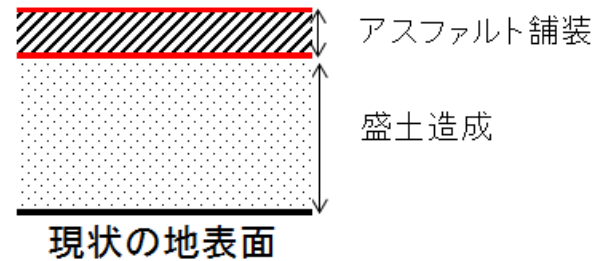
※写真等は他事例の参考で、実際の施設  
配置・仕様等は 設計して確定します。

# 造成イメージ



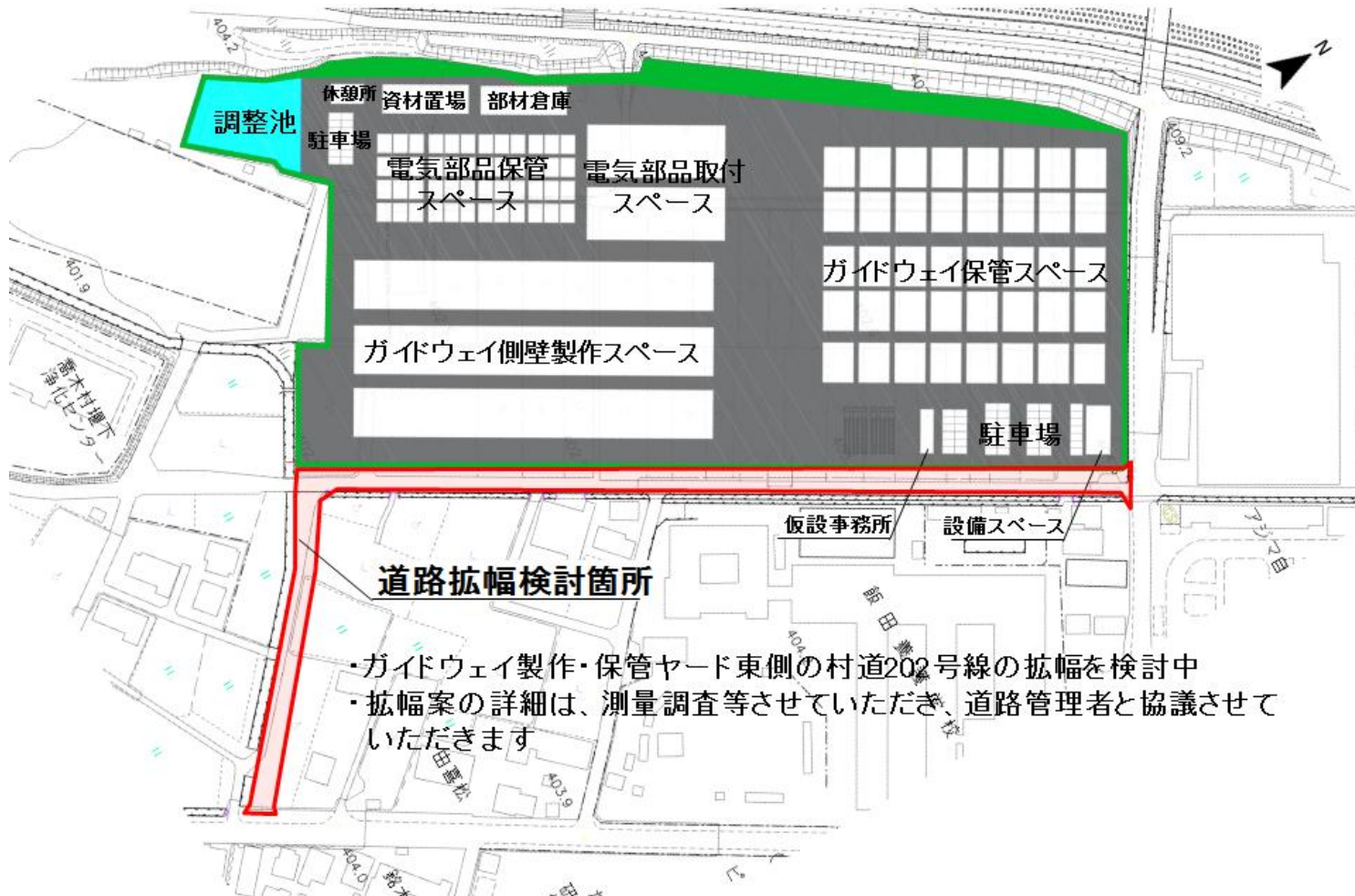
ヤード内は舗装を行います

舗装イメージ



※現時点でのイメージであり、各種協議、設計等により、今後変更する可能性があります

# 配置イメージ、村道拡幅



※現時点でのイメージであり、各種協議、設計等により、今後変更する可能性があります

# スケジュール

	平成28年度								平成29年度				平成30年度				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	
地元			▼	地権者説明(JR)						▲	耕作終了		▼	工事説明会(JR)			
				▲							借地契約						
調査設計							▼	測量・調査・設計									
申請								▼	農振除外(6月申請)		▼	農転申請					
道路改良							▼	設計協議(村・JR)				▼	用地交渉買収 交差協議(村)		▼	工事説明会(村)	
													▼	改良工事(村)			
ヤード													▼	ヤード造成工事(JR)			

## ④代替地登録制度

# 代替地登録状況

平成29年2月現在

登録件数	29件
登録面積	38,219.67㎡

## 代替地登録地区別状況

阿島北	宅地(2件)・田(9件)	小川	宅地(2件)・田(7件)
阿島南	雑種地(1件)・田(1件)	加々須	畑(2件)
伊久間	田(4件)・畑(1件)		



## ⑤リニア中央新幹線これまでの経過

年 月 日	経 過
平成23年 5月26日	国土交通大臣が、リニア中央新幹線整備計画を決定
平成23年 5月27日	国土交通大臣が、JR東海に対して建設を指示
平成23年 8月 5日	JR東海が「中央新幹線計画段階環境配慮書」を公表
平成23年 8月27日	県が、計画段階環境配慮書に対する意見をJR東海に提出
平成23年 9月27日	JR東海が、「中央新幹線環境影響評価方法書(環境影響の調査・予測・評価、環境保全対策検討)」を公表
平成23年10月11日～10月24日	JR東海による、環境影響評価方法書説明会が、飯田市・高森町・豊丘村・大鹿村・南木曾町で実施
平成23年11月 4日 ～	長野県環境影響評価技術委員会により環境影響評価方法書を審議。(4回実施)
平成24年 1月11日	村より、「環境影響評価方法書についての意見書」を県知事に提出。

年 月 日	経 過
平成24年 2月24日	県が、環境影響評価方法書についての知事意見及びリニア中央新幹線整備に対する意見書をJR東海へ提出
平成25年 9月20日	JR東海が「中央新幹線 環境影響評価準備書(アセスメント結果案)」を公表
平成25年10月 7日	JR東海による、環境影響評価準備書に関する説明会が、中央社会体育館で実施
平成25年10月30日	村より、「環境影響評価準備書に関する意見書」をJR東海に提出
平成26年 1月 9日	村より、「環境影響評価準備書に関する意見書」を県知事に提出
平成26年 3月20日	県が、環境影響評価準備書についての知事意見及びリニア中央新幹線整備に対する意見をJR東海に提出
平成26年 4月23日	JR東海が「中央新幹線環境影響評価書(アセスメント結果の確定)」を公表、国土交通大臣へ環境影響評価書の提出

年 月 日	経 過
平成26年 6月 5日	環境大臣より、環境影響評価書に関する意見書を国土交通大臣に提出
平成26年 7月18日	国土交通大臣より、環境影響評価書に関する意見書をJR東海へ送付
平成26年 8月26日	JR東海が、補正後の環境影響評価書を公表
	JR東海が、国土交通大臣に対し、工事实施計画の認可申請
平成26年 8月29日	補正後の環境影響評価書公告・縦覧開始
平成26年10月17日	国土交通大臣が工事实施計画を認可
平成26年11月 4日	阿島北リニア対策協議会が発足

年 月 日	経 過
平成26年11月 7日	JR東海による、リニア中央新幹線(品川・名古屋間)に係る事業説明会が、中学校体育館で実施
平成26年12月 2日 12月 5日	JR東海による、リニア中央新幹線(品川・名古屋間)に係る地区別事業説明会が、阿島北地区で実施
平成26年12月 9日	JR東海による、リニア中央新幹線(品川・名古屋間)に係る地区別事業説明会が、阿島北地区以外を対象に実施
平成27年 2月24日	JR東海による、リニア中央新幹線(品川・名古屋間)に係る測量作業の説明会が、阿島北リニア対策協議会で実施
平成27年 4月 1日	長野県とJR東海との間で、「中央新幹線の建設と地域振興に関する基本合意書」が締結
	併せて、JR東海から用地取得に関する事務を長野県が受託
平成27年 5月 7日～5月14日	中心線測量及び用地幅測量を実施
平成27年 7月下旬～8月下旬	阿島北及び町地区において水の利用状況調査を実施

年 月 日	経 過
平成27年11月26日	JR東海による、リニア中央新幹線(品川・名古屋間)に係る測量作業等の報告会が、阿島北リニア対策協議会で実施
平成28年 2月 1日	代替地登録制度開始
平成28年 4月18日	「豊丘村・喬木村における水資源に係る具体的な調査の計画」の公表
平成28年 4月21日	リニア中央新幹線対策委員会の設置
平成28年 4月26日	JR東海による、リニア中央新幹線(品川・名古屋間)に係る道水路付け替え協議の進捗(橋脚位置)を説明
平成28年 8月 1日	ガイドウェイヤード候補地を長野県へ申出
平成28年10月15日	ガイドウェイヤード候補地(地権者、借地権者)説明会

年 月 日	経 過
平成28年11月 1日	南アルプストンネル(長野工区)の安全祈願・起工式
平成28年11月 1日	堰下地権者協議会(第1回)開催
平成28年11月 9日	計画進捗状況の説明会(阿島北リニア対策協議会)
平成28年11月22日	リニア中央新幹線建設促進長野県協議会よりJR東海へ要請書提出
平成29年 1月23日	知事とJR東海社長との懇談
平成29年 3月21日	リニア中央新幹線対策委員会[第2回]本日

⑥ 主な要望・意見 等に対する  
JR東海の見解



# (1) 環境問題、安全対策等の協定書を締結すること。

見解→

協定等を締結することは、工所用車両の規格、通行時間、1日あたりの通行台数などについて、関係市町村等と相互に確認するなどの対応を要請に応じて行っていきます。

本事業の環境保全につきましては、環境影響評価法をはじめ関係法令に則り、適切に対応してまいりますので、個別の環境保全協定を締結する考えはありません。

## (2) 太陽光発電設備の補償を行うこと。

見解→

国のルールがないため、補償についてはJR東海で検討していきます。法律が、補償についての考え方、算出方法が太陽光発電に追いついていないと認識しています。いつまでにとは断言できないが、高架橋の設計が出来たら個別に状況判断を行ってまいります。

### (3) 壬生沢川への排水対策を講じる こと。

見解→

壬生沢川の許容量についてはまだ把握しておらず、これから河川管理者(県)と協議します。現時点での対応策は提示できないが、何らかの対策をとっていくことを考えているのでそのまま放流することはありません。

開業後は、構造物を利用して直接天竜川へ排水します。工事期間中の排水について何らかの対策を長野県と協議中であります。

## (4) 工事車両の工事計画を策定すること。

見解→

工食用車両の進入路の位置や通行禁止時間帯など決定していきます。交差する現道については使用できるように計画していくが、どうしても工事中に切り回しが必要な可能性がある場合は工事説明会で周知していくことが考えられます。

## (5) 防音防災フードと防音壁の設置 位置を協議すること。

見解→

防音防災フードの位置は、住宅分布図からJRで計画した案であるため、今後関係自治体と協議をして決定していくこととなります。

## (6) 地元の理解が得られるよう説明 対応を行うこと。

見解→

国土交通大臣からの意見を受けて、地元の理解と協力を得ることが不可欠であるため、地元住民等に対し丁寧な説明をしていきます。

## ⑦今後の予定

## リニア中央新幹線本線工事の今後の予定

	H29年度				H30年度				H31年度 以降	
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬		
設計協議・幅杭確定 用地説明・用地測量	■									
補償算定・契約締結			■							
工事説明・工事着手				■						

## ガイドウェイヤード事業の今後の予定

	H29年度				H30年度				H31年度 以降
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
調査・測量・設計	■								
農振除外・農地転用		■							
借地契約				■					
工事説明・工事着手 操業開始						■			



# リニア中央新幹線対策委員会 今後の予定

	喬木村	H29年度				H30年度				H31年度 以降
		春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
①	各地区、団体課題 取りまとめ	■								
②	未解決課題整理 JR東海質問請求		■							
③	JR東海の回答 内容協議			■						
④	工事計画内容協議 協定書の締結				■					

※① 各団体・各地区で抱えている課題の洗い出しを行う。(6月末を目処)

※② 対策委員会で情報を共有し、内容を確認する。未解決な課題事項についてJR東海へ質問状を提出する。

※③ JR東海の回答を受け、内容協議する。必要に応じて再度質問請求を行う。(納得が得られるまで繰り返す。)

※④ 工事説明会を受け、各団体で課題の洗い出しを行う。対応について文書で、協定書を締結するよう準備協議する。